

〜〜〜北海道・ジュニアゴルファーの皆さんへ〜〜〜

連盟主催の大会・練習について

北海道高等学校・中学校ゴルフ連盟

ジュニアゴルファーのみなさん、ゴルフの技術を磨くため日々練習に励んでいることと思います。また、保護者の皆様には日頃からラウンド等の引率や、ジュニアのマナー向上に対してご理解・ご協力をいただき誠に感謝申し上げます。

さて、ゴルフ競技において技術向上はもちろん大切ではありますが、それと同等以上にゴルフ選手としてのマナーを身につけることが重要です。どんなに体力・知識・技術が優秀な選手であっても、ゴルフに対する姿勢・マナーが欠けていては一流のゴルフ選手とは言えません。

本連盟もジュニアを中心に技術向上はもちろん、マナーの向上を第一に考え日々活動を行っています。しかしながら、例年ごく少数ではありますが残念な事故やゴルフ選手として明らかにマナー違反とみられる事例が報告されています。

練習中にあった事例（打ち込み）：

公式練習を行っていた選手の球が隣のホールでプレーしていたパーティーのそばへ落下。その際、危険を知らせる「フォー」の声を発しなかった。また、打ち込み先のパーティーに対する謝罪や挨拶が、打ち込んだ本人・同伴者・引率者から一切無く、選手は黙って球をプレーして自分のコースへ戻って行った。

万が一このような事例が続けば、公式練習をはじめジュニアに対する様々な支援やご協力が難しくなり、場合によっては連盟主催大会の開催中止へとつながる可能性もあります。今後、二度とこのような事故が起こらないよう、大会参加を予定しているジュニアゴルファーの皆さんにも裏面に記載されているマナーや礼儀について、改めてご確認をお願いいたします。

★大会会場（ゴルフ場）に対してのマナー

1. ゴルフ場の方々に、感謝の気持ちを込めて挨拶を忘れないこと。
2. 連盟の大会・練習ラウンドは、コースを貸し切りで開催・実施することはできません。一般のゴルファーの迷惑にならないよう常に気をつけること。
3. ハウス内はクラブメンバーの社交の場です。大会や練習ラウンドのときは礼儀をわきまえた服装・行動を心掛けること。

★練習に際してのマナー

1. ゴルフ場に必ず連絡を取ること。また練習のときの約束事を必ず確認すること。ゴルフ場の都合が最優先です。
2. 一般のゴルファーに迷惑をかけないこと。また、万が一打ち込みなどが起こったときは「フォアー」の声かけ、その後の謝罪など、基本的な危険回避やマナーをしっかりと行うこと。
3. コースの保護などに細心の注意を払うこと。ショットのときのディボット跡の目土、グリーン上のボールマークの修復、グリーンフォークや目土袋の携行など、基本的なマナーを忘れないこと。また、ピンフラッグの抜き差しによるホール縁の破損などにも十分に気をつけること。
4. コースではグリーンキーパーやコース管理者の作業が優先です。練習ホールが作業中のときはラウンドをいったん中止すること。また、作業中の方の好意でコースを空けていただいた場合には、お礼の挨拶を欠かさないこと。

◎◎ 誓約書の提出をお願いします。◎◎

今後、本連盟主催大会を継続して実施していく上で、マナーに対する違反行動や大会会場（ゴルフ場）に著しく迷惑をかけるような行為があった場合には、練習ラウンドの禁止、大会への参加取消、さらには以降の大会への参加資格剥奪など、本連盟としても強い措置を取らざるを得ません。

上記について、別紙＜誓約書＞へ必要事項を記入し本連盟事務局へご提出ください。ご提出いただけない場合には本連盟主催大会への参加を原則認めることができません。ご理解・ご協力のうえご提出くださるよう、お願いいたします。

<別 紙>

誓 約 書

北海道高等学校・中学校ゴルフ連盟

会長 駒 井 健一郎 殿

令和6年度北海道高等学校・中学校ゴルフ連盟主催大会に参加するにあたり、大会期間中および公式練習において大会会場（ゴルフ場・ゴルフ場に隣接する設備を含む）や大会事務局に対して、多大な迷惑をかける行為やマナー違反となるような行動を厳に慎むことを固く誓約いたします。

また、万が一そのような迷惑行為・マナー違反となるような行動があったと判断された場合には、連盟主催大会の公式練習禁止、大会参加資格の取消などの措置に同意いたします。

令和 6 年 月 日

選手名 _____

学校名 _____

保護者代表名 _____

※選手・保護者ともに直筆でサインしてください。